

「イギリス海岸出現の試み」でイギリス海岸が一部出現

宮沢賢治の命日である9月21日に開催された「賢治祭」に合わせて、賢治が命名した「イギリス海岸」(花巻市上小舟渡地先にある北上川右岸の川岸)出現の試みを行い、一部イギリス海岸が出現しました。

平成30年度 イギリス海岸出現状況



イギリス海岸の出現を目指して

この試みは今年で12回目であり、過去の試みではH21年、H24年、H26年、H28年に出現に成功しております。今年も、**発電事業者等の全面的な協力のもと**、国直轄の3ダム(四十四田ダム、御所ダム、田瀬ダム)と岩手県管理の2ダム(綱取ダム、早池峰ダム)による放流調整と猿ヶ石発電所(東北電力(株))の取水調整を以下のとおり実施しました。

9月20日から放流調整開始 → 9月21日9時～17時に一部出現

◆参加協力機関◆

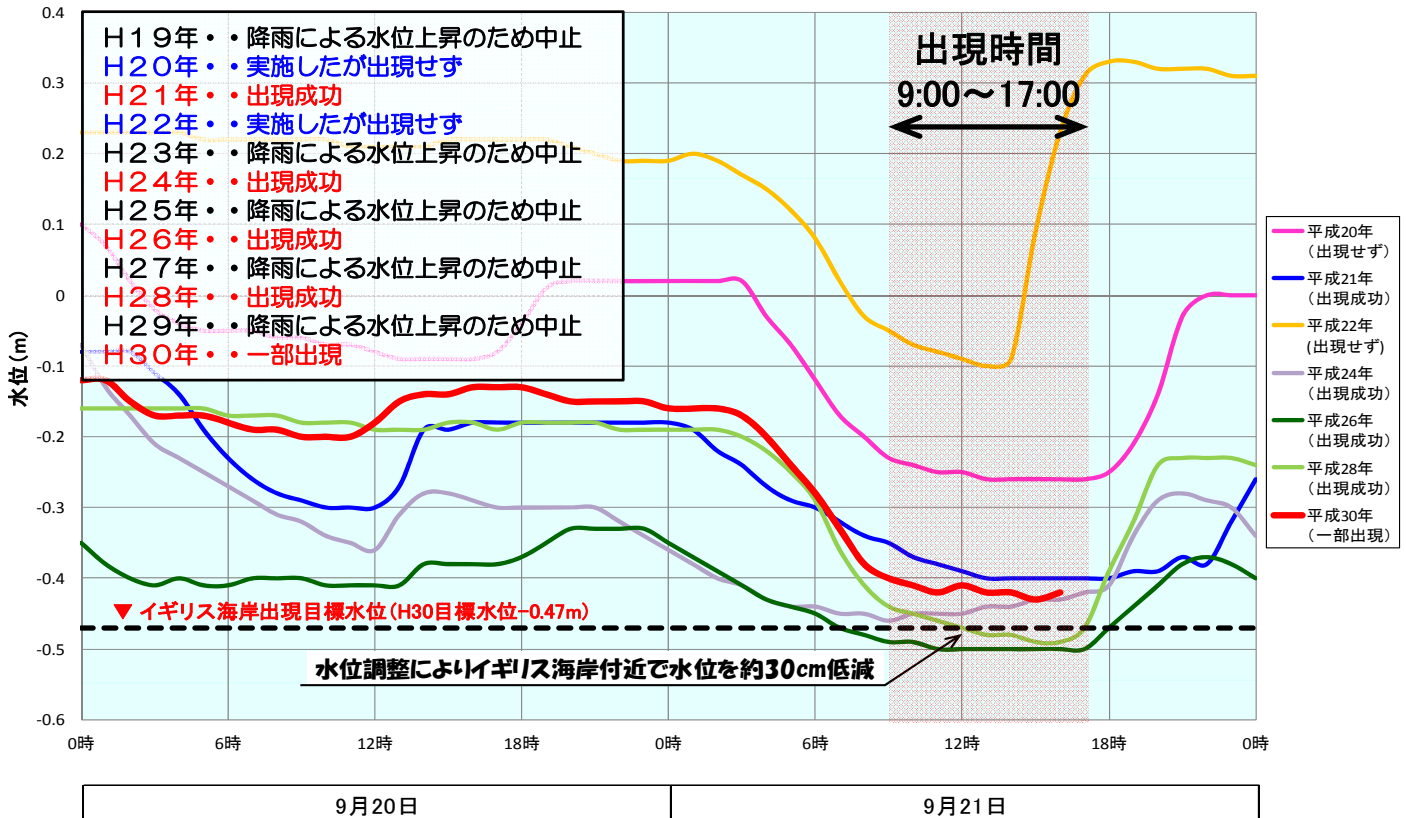
岩手県企業局、東北電力(株)、電源開発(株)、岩手県県土整備部、花巻市、北上川ダム統合管理事務所、岩手河川国道事務所

平成30年9月21日（金） 【イギリス海岸出現の試みで一部出現】

【写真】平成30年9月21日 撮影



イギリス海岸出現の試み 朝日橋水位状況



「イギリス海岸」出現の試みとは

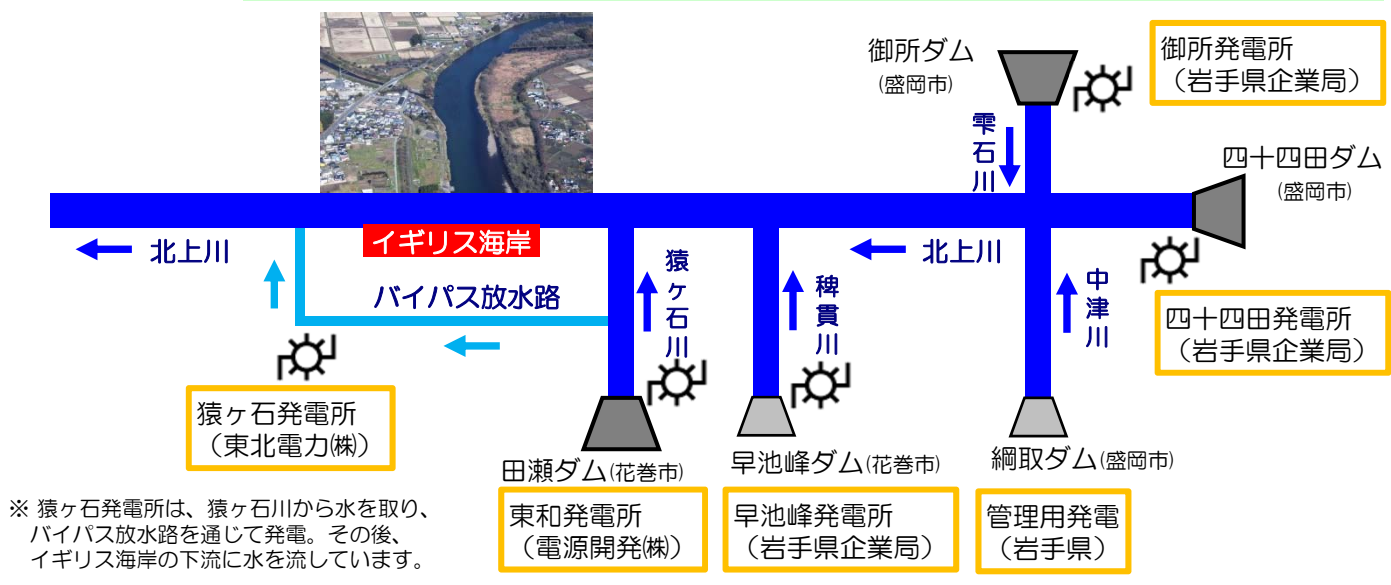
普段は北上川の水中にあるイギリス海岸を出現させるためには北上川を流れる水の量を少なくして、水位を下げる必要があります。

そこで、イギリス海岸を出現させるため、発電事業者やダム管理者と協力して以下の対応を行います。

- ①発電に使う水を減らすことで、川を流れる水の量を少なくして北上川の水位を下げています。
- ②猿ヶ石発電所は、猿ヶ石川から水を多く取り、バイパス放水路を通じてイギリス海岸の下流に水を流しています。

普段の状態

北上川や支川にあるダムでは、普段は「発電事業者」がダム湖の水を使って発電していて、発電に使った水は、ダムの下流の川へ流しています。



イギリス海岸出現の試みでは

発電で使う水を減らし、川を流れる水の量を少なくすることで、北上川の水位を30cm程度下げます。

